



**ネットワーク
全・労・生**

産別紹介④

JAM 書記長
中井 寛哉

1999年9月9日、同盟系の「ゼンキン連合」と総評・全機金・組合等が結集した「金属機械」が対等合併し、「JAM」は結成されました。

① 民主的労働運動の推進

わたしたち「JAM」が、最も重要視しているのは、なにものにも干渉されず、みずから

の意思で運営される独立した組織であり、その運動の基本を民主的労働運動に置いていることです。このことを推進してい

社会的公正労働運動の基準の確立

ける社会的な矛盾や不公平をなくす努力をします。このため、人間の尊厳や社会正義を守るために、左右の全体主義に反対し、毅然とした態度で臨みます。

織人、よき社会人、よき職業の人々が、より豊かな社会建設に向け、努力します。

え、すべての人々は人

生のどんな段階にあっても、人間的な最低限の生活と社会に参加し

たる格差、差別、犠牲

と産業民主主義の発展

を排除するため全力を

責任を明確にしたうえで、人間性を尊重するあげます。

そのために、連合運

に取り組みます。そのためには、組合活動の基礎となる単位労働組合の交渉・協議能力を

小労働運動を確立させ、国の政策・制度の充実を求めることがあります。

高め、労使関係の民主化を目指します。

た、未組織の大多数が員の生活と企業の社会的責任に関わるすべてのことに労働組合は関与するという立場で、

たちは、これらの労働

組合員の雇用者がおかれている雇用の不安定さや低い労働

条件等、わが国の産業構造に起因している不

織人、よき社会人、よき職業の人々が、より豊かな社会建設向上を基本とし、情報条件等、わが国の産業

組合員の雇用者がおかれている雇用の不安定さや低い労働

条件等、わが国の産業構造に起因している不

織人、よき社会人、よき職業の人々が、より豊かな社会建設

向上を基本とし、情報条件等、わが国の産業